

Ⅱ 特集(1)「農林漁業体験の推進」について

農林漁業体験は、農林水産物の生産現場に対する関心や理解を深めるだけでなく、食生活が自然の恩恵の上に成り立っていることや食に関わる人々の様々な活動に支えられていること等について理解を深める上で重要です。

また、農林漁業体験を経験した子どもは、食べ物大切に作る意識や食べ物への関心を持つようになり、食べ残しが少なくなる等、生活習慣にも良い影響を及ぼすと言われています。

このため、プラン2025では、「食を通じて豊かな心を育むため」の取組の一つとして、農林漁業体験を位置づけ、その実施を推進しています。

1 県の取組について

愛知県食育推進ボランティアの派遣

農林漁業体験活動など、地域で様々な食育の推進活動を自主的に行っている方を「愛知県食育推進ボランティア」として登録しています。

学校や地域で、農林漁業体験活動等の指導者を探している方にボランティアを紹介し、マッチングを行っています。



実践マニュアルの作成

どの小学校等でも無理なく農林漁業体験学習に取り組めるよう、実践のための具体的な手引や実践事例を盛り込んだ『食育のための農林漁業体験学習実践マニュアル』を作成しています。

地域の団体等の取組に対する支援

国の交付金※を活用して、市町村や団体等、地域の関係者が連携して取り組む農林漁業体験機会の提供、地域の食文化の継承などの食育推進活動に対して、支援をしています。

※消費・安全対策交付金のうち地域での食育の推進

<https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/torikumi.html>

＜支援対象となる食育推進活動＞

- ▶ 農林漁業体験機会の提供
- ▶ 生産者と消費者の交流イベントの開催
- ▶ 学校給食における地場産物活用
- ▶ 地域食文化の継承
- ▶ 地域における共食の場の提供 等

県食育Webサイト「食育ネットあいち」による情報発信

食育推進ボランティアの活動や派遣の手引、県内で行われる食育イベントの情報や農林漁業体験実践マニュアルなどの参考資料等を掲載しています。

また、県内の農業体験施設や教育ファーム・酪農教育ファームのリンクも掲載しています。

ぜひ、愛知県の食育Webサイト「食育ネットあいち」を御覧ください！

URL : <https://www.pref.aichi.jp/shokuiku/shokuikunet/>



2 あいち食農教育表彰について

「あいち食農教育表彰」は、愛知県教育委員会とJAグループ愛知との食育に関する連携協定の一環として、子どもの「心」と「体」の健康に資する農業体験、農業生産者・JA・行政・企業等との連携、その他農業理解につながる食育の推進等、食と農の大切さを学ぶ活動（食農教育活動）を実践している学校を表彰するもので、2023年度から始まりました。

<第1回(2023年度)審査結果>

★最優秀賞（教育委員会賞）
岡崎市立豊富小学校

★優秀賞（JA愛知中央会長賞）
蒲都市立蒲郡西部小学校
安城市立桜林小学校



第1回最優秀賞の取組はJA愛知中央会のYouTubeチャンネルで公開しています（<https://www.youtube.com/watch?v=Q7kFZtKeikQ>）

<第2回(2024年度)審査結果>

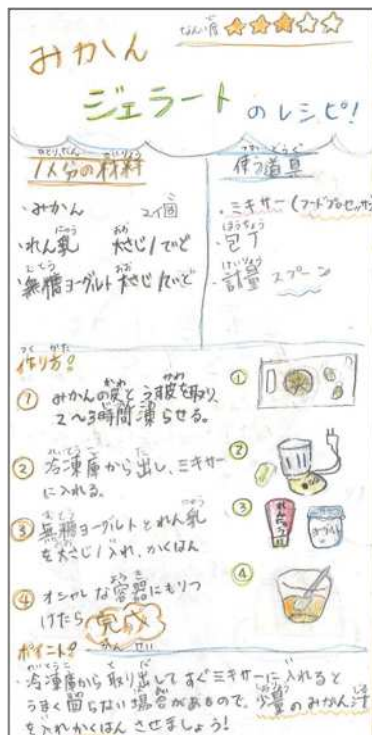
★最優秀賞（教育委員会賞）
蒲都市立蒲郡西部小学校

★優秀賞（JA愛知中央会長賞）
岡崎市立常磐南小学校
岡崎市立六ツ美中部小学校

第2回 最優秀賞

蒲都市立蒲郡西部小学校

もったいないを ほっとけない
～摘果みかんの利用とバイオネストの活用～



摘果みかんを活用したレシピ

約50年前に校内に植えられたみかんの木を活用し、5年生を中心に、毎年、食や農に関する取組を行っています。

2024年度は、栽培の途中で間引かれた摘果みかんを有効利用するため、試行錯誤しながら、メニューを開発しました。栄養教諭や6年生にも意見を聞き、五つのレシピにまとめました。

また、「農業の基本は土づくり」と教わったことから、雑草を活用した腐葉土作りに取り組みました。

さらに、4年生を中心に、みかんの剪定枝や枯れ葉等を用いて「バイオネスト」によるサステナブルな腐葉土作りにも取り組みました。



「バイオネスト」を使った腐葉土作り

※バイオネスト

植物の剪定枝や幹などを利用して作る堆肥場のこと。

名前の由来は「バイオ（bio）=生命」と「ネスト（nest）=巣」から来ています。